

掘削用機械を起因物とする墜落・転落の死亡災害発生事例（1999-2020年）

発生年	発生月	時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
1999	1	11～12	工事に使用するパワーショベルを10tトラックに載せて現場に運んで来てトラックから降ろしていたときに、誤ってショベルとともに河川に転落し、ショベルの下敷きになった。	10901	10～29
1999	1	15～16	ドラグショベルを50M下に移動させるため、平均斜度35度の斜面を足がかりを作りながら自力で下方に移動中に約30m下に転落、バケットの下敷きとなった。	30106	1～9
1999	2	13～14	かんがい排水の配水管布設工事で、鋼矢板上に敷いてあった鉄板を別の箇所に移動させるためドラグショベルでつり上げ走行していたところ、路肩が崩れてドラグショベルが転落し運転席が鋼矢板に当たってつぶれた。	30107	10～29
1999	2	7～8	圃場整備工事現場に移動式クレーン付セルフローダーでドラグショベルを搬送し、ドラグショベルを自走させて荷台より降す作業中にドラグショベルが横滑りしてバランスを崩し転落しそうになったため運転席より飛び降りたが、転落してきたショベルの下敷きとなった。	40301	1～9
1999	5	19～20	ドラグショベルに付けた排土板で町道の整地作業を行っていたときに、路肩から誤って転落し、運転席と樹木との間に頭部を挟まれた。	160101	10～29
1999	6	11～12	バックホウで沈殿池脇の道を移動中に左側キャタピラが池に落ちて機体が約15度傾いてしまったので、運転を交代して機体を旋回させたところ、さらに機体が傾いて横転して運転席が水没し、そのとき操作レバーが足に引っ掛かって、脱出出来ないまま溺死した。	20202	30～49

1999	2	15 ～ 16	ドラグショベルで土のう筋工の床堀床均し作業を行っていてアームバケットの下敷きになった。	30108	30 ～ 49
1999	6	14 ～ 15	原石山から発生する表土等の土捨場において、表土を運搬してきた25トンダンプトラックが盛土の路肩から45度の斜面を約11m墜落したので、ドラグショベル2台で起こそうとしていたところ、1台のドラグショベルが路肩から48度の斜面を約13m墜落したので、運転席から飛び降り、斜面に打ちつけられた。	20209	10 ～ 29
1999	6	14 ～ 15	農道に置いてあったバックホーを移動するため、4トントラックの荷台に載せ、坂道の農道から国道にでようと右折したが雨で地面がぬかるんでいたためタイヤが空回りして進めなくなったので、バックホーに乗り換えてバケットのツメで地面を突いてトラックを押し出したときに、バックホーとともに地面に転落した。	30106	1～ 9
1999	4	15 ～ 16	砂防工事において、道路にドラグショベルを置き生コンクリートの入った容器を吊り上げたところ、バランスをくずしてドラグショベルごと約1.8メートル下の道路上に墜落し、ドラグショベルの下敷きになった。	30108	1～ 9
1999	7	10 ～ 11	採石場において、発破後の切り取り部分の岩をドラグショベルでかき落とすため、まずベンチカットの上部表土を落とそうとドラグショベルを路肩に近づいたときに、ショベルとともに路肩から約15m転落し、機体の下敷になった。	20201	10 ～ 29
1999	8	14 ～ 15	団地の法面修復工事のため勾配約30度の法面をドラグショベルで掘削作業中、ドラグショベルが転落し、その下敷きになった。	30109	10 ～ 29
1999	9	7 ～ 8	道路新設工事の土砂採取場において朝礼が終了した後、土砂の掘削及びダンプトラックへの積込みのためドラグショベルを、路肩方向に旋回したところ、ドラグショベルのクローラが横滑りをおこし、路肩部分から約4メートルの法面下まで転落した。	30106	50 ～ 99
		13	治山のための法面保全工事において、ミニコンボでかき落とした表土によっ		30

1999	9	～ 14	て作業道が通れなくなったので、頂上側を通り反対側へ大きく回り込もうと したときに法面上を約40m転落した。	30199	～ 49
1999	11	～ 11	砂防ダム工事現場で、ダンプ用仮設搬入路を設けるため路肩でドラグショベル で盛土作業中に、路肩から斜面を約2メートル下に、ドラグショベルとともに 転落した。	30108	～ 29
2000	8	～ 17	資材置場工事に伴う取付道路の造成作業で、ダンプで搬送した土を小型ドラ クショベルで整地しているときに、作業中路肩が崩れ転落しドラグショベル と地面との間に挟まれた。	30209	～ 29
2000	6	～ 8	7 パワーショベルを現場に移送するため、機械を自走させて4t貨物自動車に積 み込ませているときに横転し、ショベルの下敷きとなった。	30199	1～ 9
2000	11	～ 14	13 平坦地との高低差が3. 2mある宅地造成地の端で機体質量2. 49 tのドラグ・ ショベルでコンクリートバケットを吊り上げ型枠にコンクリートを流し込む 作業中に、ドラグ・ショベルが平坦地に転落し機体の下敷きになった。	30199	1～ 9
2000	8	～ 16	15 橋梁の解体作業で、ドラグショベルで破碎した床版コンクリート片(約600kg) を吊り上げダンプトラックに積み込むため旋回したときに横転し、ショベル と共に約22m下の川に墜落した。	30199	1～ 9
2000	10	～ 12	11 工所用道路工事において、ドラグ・ショベル(0. 7?)で掘削した伐根を所定の 位置に運ぶため玉掛けワイヤーロープを掛けてドラグ・ショベルで平坦な箇 所に移動し、谷側に向けてショベルのアームを約30度旋回させたときに、機 体と共に斜面を約26m下まで転落した。	30108	～ 29
2000	2	～ 10	9 下り坂(勾配13度)でドラグショベル(機体質量6. 3t)を用いてコンクリートバ ケット(重量1180kg)をワイヤーで吊り上げ後進しながら方向転換のために アームを左旋回させたところ、バケットの重さで水田に転落し、その下敷き になった。	30106	1～ 9
2000	2	～ 10	10 農地災害復旧工事現場へ機体質量2, 8tのドラグショベルを移動する途中で道 路脇から重機ごと転落し、ヘッドガードと重機に挟まれた。	30199	1～ 9

		11			
2000	11	16 ～ 17	ドラグ・ショベルで鉄筋の束(約1.6t)を吊り上げてブームを左旋回させたときに、バランスを崩して約10メートル下に転落した。	30109	1～ 9
2000	4	20 ～ 21	養鶏場のごみ捨場から出火したので、周囲への延焼を防ぐためパワーショベルで土をかぶせるなどの消火作業を行っていたところ、夜間と煙りにより視界が悪かったため誤って高さ9メートルの崖下に重機とともに転落した。	30199	1～ 9
2000	10	16 ～ 17	工事現場内の山腹斜面で、ドラグ・ショベル(機体重量約2t)で刈った草木等を寄せ集める作業をしているときにドラグ・ショベルごと斜面(斜度約50度)を転落し、約14m下の民家に激突した。	30108	1～ 9
2000	8	9 ～ 10	トラック(積載荷重2t)に載せていたドラグ・ショベルを地上に降ろす作業をしていたところ、地上から荷台に掛け渡した2本のアルミ製の道板(勾配15度)の1本が外れてドラグ・ショベルが横転し、地面とヘッドガードの柱との間に頭部を挟まれた。	30110	1～ 9
2000	1	9 ～ 10	自動車道の橋桁新築工事で、山側斜面の土砂崩れを防ぐために土砂を入れた袋をドラグショベルで吊り上げているときに、ショベルが谷に転落した。	30105	1～ 9
2000	9	13 ～ 14	無資格者がドラグ・ショベルを移動しているときに溝に転落しそうになりバケットで支えて止まったので、ダンプとドラグ・ショベルにワイヤーを掛け、引き上げようとしたときにショベルと共に転落し、その下敷きになった。	30199	1～ 9
2000	11	16 ～ 17	宅地造成工事に使用した機体質量5.1tのドラグショベルを8tトラックに積載中、トラック荷台からドラグショベルが転落し、運転席から投げ出されて地面とドラグショベルとの間に胸部をはさまれた。	40301	10 ～ 29
2000	11	14 ～ 15	道路改良工事において、幅4mの道路でドラグショベルを運転していたところ大型ダンプトラックが下ってきたのでショベルを谷川斜面側に寄せたときに、路肩が崩壊したためドラグショベルとともに勾配約40度の斜面を12.4m	30106	10 ～ 29

			転落した。		
2001	1	16 ～ 17	採石場の工事用道路をドラグショベルで下っていたときに積雪のため路肩からドラグショベルごと横転し、運転席にはさまれた。	20201	10 ～ 29
2001	3	15 ～ 16	営業所構内において、大型トレーラーから重機を降ろしていたところ、重機がバランスを崩したので運転席から地面へ飛び降りたが、倒れてきた重機の運転席部分と近くに横積みしてあった電柱との間に胸部を挟まれた。	40302	30 ～ 49
2001	2	9 ～ 10	道路改良工事に伴う立木の伐採作業で、木が株から切り離れたときに近くの建物に当たらないようにするためバックホーのバケットの背面に乗り立木にワイヤーロープを掛けていたときに、足が滑って約1.85m下に墜落した。	30106	1～ 9
2001	3	16 ～ 17	ドラグショベルによる整地作業が終了したので、約41.7m下の県道に降りているときに、県道上の回し場で方向転換をする際に車体のバランスを崩し、17m(斜距離)下の谷に転落した。	30106	10 ～ 29
2001	3	13 ～ 14	家屋解体工事現場で、ドラグショベルを運搬するためトレーラーに積載したのち、上部旋回体を旋回させたときにドラグショベルが路上に転落し、ドラグショベルの下敷きになった。	40301	1～ 9
2001	3	10 ～ 11	一時仮置した砂をドラグショベルでダンプカーへ積み込むため、搬入道の上から掘削していたときに、約3m下へドラグショベルとともに転落し下敷になったもの。	40302	30 ～ 49
2001	4	9 ～ 10	小規模崩壊地復旧工事において、小型パワーショベルで掘削中に法面の切り株にバケットが当たったため、その反動で小型パワーショベルが持ち上がってバランスを崩し、ショベルとともに約3m下に転落した。	30199	1～ 9
2001	4	8 ～ 9	トレーラーにドラグショベルを積み込む作業で、ショベルのアームを支えにして機体を浮き上がらせトレーラーに乗せようとしたところ、ショベルのキャタピラ部分がトレーラーから外れ、その反動でドラグショベルが横転し下敷きになった。	30199	10 ～ 29
		14	重機運搬車(3.4t)にアルミ製の道板2枚を取付け、ドラグショベル(機体質量		10

2001	6	～	990kg)を荷台に積込む作業を行っていたところ、道板からドラグショベルが	30199	～
		15	転落し、その下敷きになった。		29
2001	6	～	道路災害復旧工事において擁壁の基礎部分の埋め戻し作業を小型ドラグショ	30106	30
		9	ベルで行っていたときに、作業端の路肩からショベルとともに転落し下敷き		～
			になった。		49
2001	7	～	歩道設置工事現場において、川の上流側の溶接作業をするため下流側におい	30107	10
		14	てあった溶接発電機(重さ400kgグラム)をユンボで吊上げ運んでいるときに、		～
			路肩から3.9m下の川へ転落し、バックホーの下敷きになった。		29
2001	4	～	災害復旧現場の土砂を2tダンプトラックにドラグ・ショベルで積み込むた	30108	10
		8	め、ドラグ・ショベルを運転して盛土の上から下りようとしたところ、傾斜		～
		9	約30度、高さ0.97mの斜面でドラグ・ショベルが転落し、ドラグ・ショベル		29
			の運転席部分と地面との間に胸部をはさまれた。		
2001	7	～	治山ダムの型枠組立作業のためドラグ・ショベル(機体質量18.8t)を勾配12	30108	10
		9	度の工事用仮設道路を治山ダム現場に向かっていたところ、仮設道路に敷い		～
		10	てあった鋼製ロードマット上でショベルが谷側にスリップし、路肩より3.2		29
			m下の仮設道路に転落し、ショベルの下敷きになった。		
2001	8	～	ドラグショベル(機体質量1.5t)で果樹園の鳥獣害防止柵の扉門柱(幅約2m)基	30199	10
		10	礎ブロック埋設のため法尻部分を掘削していたところ、ショベルのキャタピ		～
		11	ラがアスファルト部から未舗装の部分にかかり、自重により沈み込んで転倒		29
			し、ショベルとともに法面下方(約1m)に転落し下敷きになった。		
2001	9	～	一般住宅の下水道工事現場において、作業に使用したドラグ・ショベルをダ	30203	10
		16	ンプカーに自走により積み込む作業を行っていたとき、2枚の道板(アルミ製)		～
		17	のうち1枚が脱落してショベルとともに転落した。		29
2001	10	～	銭湯の排水管の修理工事が終わって埋め戻し作業を行っているときにドラッ	30107	1～
		16	グショベルとともに転落した。		9
		17			
		9	道路工事現場で道路下の杉のかかり木が作業に支障があるため、道路上から		

2001	12	～ 10	ドラグショベルにワイヤーロープを掛けてかかられた木から外そうとしたときに、かかり木は外れずドラグショベルが道路から13.9m下に転落し、その下敷きになった。	30106	1～ 9
2002	1	0 ～ 1	ダム管理用道路の開設工事現場で、切り株（直径30cm、長さ50cm）を機体質量2.48tのドラグ・ショベルで吊り上げて旋回していたところ、バランスをくずしてドラグ・ショベルが転倒し、運転席から投げ出されて約28m下の谷へ転落した。	30106	50 ～ 99
2002	2	6 ～ 7	ドラグショベルを2tダンプに積み込むため、バケットをダンプの荷台に置いて後ろ向きにクローラの後端を浮き上がらせて荷台に載せた後、アームを旋回してバケットを地上に接地させて車体を荷台に積み込もうとしたときに、クローラの後端がダンプの荷台から外れてドラグショベルが横転し、運転者が運転席から投げ出されヘッドガードと地上との間に挟まれた。	30110	10 ～ 29
2002	4	14 ～ 15	河川改良工事で、法面と護岸ブロックとの間を埋め戻すため対岸からドラグショベルで土砂を投入していて、7m余り先にある対岸に投入するためアームを伸ばしたときに、ドラグショベルの安定が崩れて川に転落し、運転者が運転席内で頭部を挟まれた。	30107	10 ～ 29
2002	5	15 ～ 16	林道新設工事において、ミニワイヤーウォール工法を用いて道路谷側壁面の補強作業を行っていた小型のドラグショベルが180度旋回（機体上部のみ）したときに、谷側に転倒しそのまま谷の斜面を約20m転落した。	30106	30 ～ 49
2002	9	11 ～ 12	建設会社の資材置場の水はけが悪いので、3mほど掘削して地盤の改良（表土返し）作業中に、ドラグ・ショベルが滑って掘削した穴に転落し運転席に挟まれた。	30199	10 ～ 29
2002	11	15 ～ 16	ドラグショベルで採石場への進入路の拡幅作業を行っていたときに、高さ約70m下の土場にドラグショベルとともに転落した。	20201	10 ～ 29
2002	11	11 ～ 12	ずい道上部を開削するため、岩盤上の土被り状況調査の掘削をしているときに、作業床端部より重機とともに転落し、車外に放り出されて重機の下敷きとなった。	30102	1～ 9

2003	1	15 ～ 16	工場内にあるアスファルトガラ仮置場で、ドラグ・ショベルを用いて小さいガラと大きいガラに分別していたときに、高さ約7mのガラ山から転落し、運転者が放り出されて下敷きになった。	40309	10 ～ 29
2003	2	8 ～ 9	ドラグ・ショベルを移動しようとしたときに、運行経路の傾斜部で滑ってそのまま路肩から川へ転落し溺死した。	30106	10 ～ 29
2003	2	8 ～ 9	ドラグ・ショベルをトラックより積みおろすため、トラック後部荷台に掛けた道板上を降りていたとき、機体が前方回転したため機体から投げ出され、機体（機体質量1480kg）の下敷となった。	30109	10 ～ 29
2003	3	8 ～ 9	配水管埋設工事において、ミニドラグ・ショベル（機体質量420kg、車幅62cm）で転圧機をつり上げて町道（幅162cm）を移動していたときに、町道から高さ90cm下の田んぼに墜落してミニドラグ・ショベルの下敷きになった。	30110	1～ 9
2003	4	13 ～ 14	残土の積込作業で、普段使用しているミニドラグ・ショベル（車体質量2.8t）が他で使用巾中であつたため、責任者の許可を得ずにドラグ・ショベル（バケツト用量0.25m ³ 、車体質量6t）に搭乗して道路を移動させていたときに、道路路肩から3m下にドラグ・ショベルごと墜落し、運転席から放り出されて立木とドラグ・ショベルとの間に腹部をはさまれた。	30110	10 ～ 29
2003	4	14 ～ 15	林道開設工事において、ドラグ・ショベル（バケツト容量0.8m ³ ）のバケツトを使用して整地作業中に、ドラグ・ショベル右側（谷側）の路肩が長さ約11m、最大で幅2mにわたつて崩壊したため、機体が約130m下に転落し、オペレーターが路肩から約70m下方で機体から投げ出された。	30106	30 ～ 49
2003	4	10 ～ 11	河川堤防上の道路舗装工事において、転圧ローラー（質量950kg）の位置を入れ替えるため、ドラグ・ショベル（バケツト容量0.15m ³ 、機体質量3.7t）でつり上げようとしたときに安定を失い、転圧ローラー、ドラグ・ショベルとともに約2.5m下方の河原へ転落し、ドラグ・ショベルのブームが頭部に当たつた。	30106	10 ～ 29

2003	4	15 ～ 16	高さ約10mに山積みした廃プラスチック等の廃棄物の上部で、廃棄物をドラグ・ショベルにより均していたときに、ドラグ・ショベルとともに転落し、 運転席から投げ出され首を骨折した。	150103	～ 29
2003	7	15 ～ 16	積み重ねた高さ1.5mの敷鉄板上の最上部の1枚の敷鉄板に玉掛けする作業 で、ドラグ・ショベル（移動式クレーン仕様付：2.9t）のバケットをつり上げ 位置に合わせるため運転者がアームを伸ばしたときに、バケットのフックか ら取付けピンを外そうとしていた者がバケットに接触し敷鉄板上から墜落し た。	30199	～ 99
2003	8	9 ～ 10	ドラグ・ショベルを運転していて道路端に寄ったところ、傾斜地（林）と なっていたためドラグ・ショベルとともに約30m下に転落した。	30106	～ 29
2003	9	14 ～ 15	林道わきに電柱を建てる工事で、試掘のため設置したドラグ・ショベルのエ ンジンを持ち忘れていたのでエンジンを切りに行ったときに、ドラグ・ショ ベルの車体が右旋回する形で斜面を滑って転覆しその下敷きになった。	30301	1～ 9
2003	10	11 ～ 12	道路建設工事において、ドラグ・ショベルのバケット上に鉄板（約1.6t）を載 せて回転させたときに、法肩から約4m下の道路にショベルとともに転落しク ローラ部の下敷きになった。	30106	～ 99
2003	12	11 ～ 12	ドラグ・ショベルで水路敷設のためのコンクリート製U字溝をつり上げ旋回し ていたときに、ドラグ・ショベルが転倒し運転者とともに崖を7.5m下まで転 落した。	30110	1～ 9
2004	7	11 ～ 12	よう壁ブロックの積み上げ工事において、ドラグ・ショベルを用いバケット に生コンクリートを入れ、現場まで走行し型枠内に生コンクリートを流し込 もうと旋回したところ、バランスを崩し重機ごと転落した。	30199	1～ 9
2004	5	10 ～ 11	自社所有地から出た土砂をダンプ3台で災害発生地まで運搬、災害発生地内に ある池を埋め立てる作業を、ドラグ・ショベル（車重35t）を運転し行って いたところ、ドラグ・ショベルごと池に転落した。	20202	1～ 9
		9	砂採取場所にできた池の端にドラグ・ショベルを設置し、掘削作業を行って		1～

2004	9	～ 10	いたところ、ドラグ・ショベルごと池に転落した。	20202	9
2004	1	14 ～ 15	張ブロック（コンクリート製、1枚50kg）を側溝へ据付けるため、ドラグ・ショベルで張ブロック15枚をつり、約4.2m下の土手に下ろそうとしていたところ、ドラグ・ショベルが転倒し、運転していた被災者がドラグ・ショベルの下敷きになった。	30107	10 ～ 29
2004	11	8 ～ 9	車両系建設機械のバケットに乗り、型枠材を取り外す作業をしていたところ、バケットから墜落し、さらに谷に転落した。	30106	1～ 9
2005	10	11 ～ 12	集水井掘削工事において、作業終了後に作業床を支えていた棒鋼の抜取り作業中、最後の棒鋼を抜き取った際、ワイヤロープのつりリングがクラムシェルから外れ、深さ7mの井戸底部に当該作業床もろとも墜落した。	30199	1～ 9
2005	7	11 ～ 12	民家の石積み補強工事で、トラック荷台上の生コンをドラグ・ショベルのバケットですくい、型枠へと注ぎ込む作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルもろとも2m下へ転落した。	30199	1～ 9
2005	12	6 ～ 7	河川敷道路においてトラックにドラグ・ショベルを後進させながら積込み作業中、クローラが荷台から外れ、5m下の川に転落し、被災者がドラグ・ショベルの下敷きとなった。	40302	1～ 9
2005	11	11 ～ 12	農地災害復旧工事現場において、ブロック積み作業を行うためドラグ・ショベルの運転の業務を行っていたところ、4m下の地面にドラグ・ショベルとともに墜落した。	30109	10 ～ 29
2005	3	10 ～ 11	ドラグ・ショベルで勾配が20度の斜面を上ろうとしたが自走できなかったため、玉掛用ワイヤロープの一端を切株に巻き付け、もう一端をドラグ・ショベルのバケットの爪に引っかけて上ろうとしたところ、爪に引っかけていたワイヤロープが外れ、ドラグ・ショベルごと4m転落した。	60209	10 ～ 29
2005	2	11	ため池周辺の農道の災害復旧工事において、重機の搬入路確保のため、ドラグ・ショベルにて農道を拡幅作業中、路肩からドラグ・ショベルとともに勾	30106	10 ～

		12	配が40度の斜面を8m転落した。		29
2005	4	10 ～ 11	ドラグ・ショベルを使用して斜面の掘削を行っていたところ、高さ10mの法面上からドラグ・ショベルごと転落し、運転席ごと潰された。	30109	1～ 9
2005	4	16 ～ 17	盛土の上で作業していたドラグ・ショベルを下ろそうと勾配が30度の斜面を下っていたところ、機体が転落し、被災者が機体の下敷きとなった。	30201	50 ～ 99
2005	2	10 ～ 11	道路の側溝敷設工事において、掘削面の上部をドラグ・ショベルで移動中、アスファルト路面の下部が崩壊したため深さ2mの掘削箇所へ転落し、既設のコンクリート擁壁とドラグ・ショベルとの間に挟まれた。	30110	10 ～ 29
2005	1	15 ～ 16	掘削前の伐採作業において、伐倒木をドラグ・ショベルで運搬し、地山上方から地上へ伐倒木を下ろす際に、ドラグ・ショベルが勾配が16度の斜面を滑り、法肩から20m転落した。	30106	10 ～ 29
2006	2	17 ～ 18	斜面に設けた茶畑で、茶木の植え替えのために、ドラグ・ショベルで斜面の掘削作業を行っていた際に、ドラグ・ショベルとともに斜面を約30メートル転落した。	10109	1～ 9
2006	4	9 ～ 10	護岸工事において、被災者がドラグ・ショベルを運転し、鉄板を吊り上げている際にバランスが崩れ、高さ約2.5メートルの箇所からドラグ・ショベルごと転落し、ドラグ・ショベルと地面との間に挟まれた。	30199	1～ 9
2006	5	11 ～ 12	線路下の横断水路新設工事現場において、被災者は深さ4.3mの縦坑内へ搬入されていたドラグ・ショベルを運転し、当箇所から1.6m下の床付け部に移動させようとドラグ・ショベルを方向転換させたとき、段差部の路肩が崩れ、クローラーが横滑りして横転し、運転席から投げ出された被災者は、縦坑鋼矢板とドラグ・ショベル間に挟まれた。	30199	1～ 9
2006	7	9 ～	被災者は、県道直下のブロック積み施工箇所をドラグ・ショベルで掘削していたが、右岸からは下部の掘削ができないため、小型ドラグ・ショベルを左岸から進入させた。ドラグ・ショベルの進入箇所はドラグ・ショベルの機体	30199	1～

		10	前方に約35度下がり傾斜で、左方向に約10度下がり傾斜であった。ドラグ・ショベルが前方に約2メートル進んだところで、機体が左に傾き横転して斜面を約15メートル転落、被災者は機体から投げ出された。		9
2006	8	14 ～ 15	急傾斜地崩壊対策工事において、落石防護柵を設置するため基礎床堀をしようと法面小段を小型ドラグ・ショベルに乗車して鉄板2枚を交互に敷き詰めながら移動中、鉄板を吊り上げて旋回中にバランスを崩して小段端部より12メートル下の民家敷地へ小型ドラグ・ショベルとともに転落した。	30199	10 ～ 29
2006	9	16 ～ 17	林道にブレーカを移動させるため、ブレーカにベルトスリングとワイヤロープを取り付け、ベルトスリングを林道上の車両積載形トラックに固定させ、ワイヤロープを林道上のバックホウのバケットに取り付け、バックホウでブレーカを引っ張ると同時に、被災者がブレーカを自走させ、傾斜45度の斜面上を上がっていた。この時、バケットのフックからワイヤロープが外れ、ブレーカーが転倒したため、被災者が運転席から転落した。	30199	1～ 9
2006	9	10 ～ 11	コンクリート製減圧槽（高さ1.3m）の設置工事現場において、槽から10m離れた場所にある石積み（高さ1m）から奥に広がる土の斜面（勾配18度）で、被災者がドラグ・ショベル（機体重量0.7t）を運転していたところ、ドラグ・ショベルが横転して被災者と共に減圧槽と石積みとの間に転落し、被災者がドラグ・ショベルの下敷きとなった。	30110	10 ～ 29
2006	11	16 ～ 17	ドラグ・ショベル（機体重量約1.4t）を道板（積載重量750kg、2枚）を用いて市道上で2tトラックに積み込む作業を行っていた際に、同ドラグ・ショベルが道板から外れ、市道脇の田んぼに被災者もろとも転落し、被災者は同ドラグ・ショベルの下敷きになった。	30203	1～ 9
2007	3	13 ～ 14	間伐材を搬出するための作業道を設置する作業において、ドラグ・ショベルバケット部分設置のフックに、作業道設置の材料である杉丸太（長さ2m直径20cm）約7本をワイヤロープでつり上げ旋回したところ、沢側に転落し被災者は転落途中でドラグ・ショベルの下敷きになった。	60201	1～ 9
		16	砂利採取場において、地上より深さ6.5m下にあるドラグ・ショベルを地上まで上げるため、下部31度～上部38度の勾配の掘削面を登坂し、バ		1～

2007	6	～ 17	ケットを地上面に突き刺してバランスを取り、地上に登りきろうとしたところ、安定が保てず、ドラグ・ショベルもろとも転落した。	20202	9
2007	2	～ 14	水道管布設工事において、幅約1.2m～1.5mの山道を小型ドラグ・ショベルを運転中、路肩より小型ドラグ・ショベルと共に転落し、小型ドラグ・ショベルの下敷きになった。	30110	～ 29
2007	4	～ 12	道路改良工事現場において、法面の地山を掘削するため、ドラグ・ショベルで道路から一段上（高さ約3m、角度40度～45度）に登っていた時、ドラグ・ショベルが後方に転落し投げ出された。	30106	1～ 9
2007	3	15 ～ 16	平均勾配20度の作業道に盛土された土砂を、盛土の下方に設置したドラグ・ショベル（機体重量3.77t）により、土砂をドラグ・ショベルの右側へ運搬する作業中、ドラグ・ショベルのアームを右旋回したところ、履帯後部を支点にして後方へ転倒し、更に作業道の路肩から約1.7m斜面（平均勾配43度）を転落した。ドラグ・ショベルを運転していた被災者は、転落途中で運転席から投げ出され、アームと地面にはさまれ死亡した。	30108	10 ～ 29
2008	10	～ 14	民有林地内において、被災者がドラグ・ショベルを運転して林道を開削中、路肩から転落し、被災者がキャビンから投げ出されたため、転落したドラグ・ショベルの下敷きとなった。	60201	1～ 9
2008	8	～ 14	空き地の整地作業が終了してドラグ・ショベルをトラックに積み込もうとした際、トラックの荷台に架けた道板上からドラグ・ショベルが横転してドラグ・ショベルの下敷きとなり被災した。	30202	10 ～ 29
2008	7	10 ～ 11	道路災害復旧工事現場において、作業の終了後、現場内の後片付けをするために、現場内に設置していたドラグ・ショベルを被災者がトレーラーで別の場所に移動し、トレーラーの荷台からドラグ・ショベルを降ろそうとしたとき、荷台の脇からドラグ・ショベルが滑り落ちて道路脇の斜面（高さ約17m）を転落し、ドラグ・ショベルを運転していた被災者が死亡した。	30106	10 ～ 29
2008	3	～	15 圧送管築造工事現場において、掘削した土砂をポンプ場内広場に仮置きしてドラグ・ショベルにて盛土の上で作業中（高さ約2.5m）に旋回したところ、	30110	1～ 9

		16	ドラグ・ショベルが転倒して運転者が下敷きになり死亡した。		
2008	11	11 ～ 12	谷止工のコンクリート打設中、被災者がドラグ・ショベルでコンクリートバケットをつり上げて旋回したところ、車体が傾き、法長11.6mの斜面を転落して運転席から投げ出されて死亡した。被災者がつり上げていたコンクリートバケットは、バケット容量0.5m3のものであった。被災者は当該コンクリートバケットを玉掛用ワイヤロープを使用して、ドラグ・ショベルのバケットのフックに付けてつり上げを行っていた。	30108	10 ～ 29
2008	11	11 ～ 12	被災者は一人でトレーラーからドラグ・ショベルを地上に降ろす作業を行っていた。しばらくして、大きな音がしたため土地の所有者らが駆けつけたところ、ドラグ・ショベルが荷台後方の地上で横転しており、被災者がドラグ・ショベルのマストの下敷きになった状態で発見された。	40301	1～ 9
2008	7	15 ～ 16	二級河川の護岸工事（ブロック積み）において、被災者がドラグ・ショベル（通称ミニショベル（クレーン機能つき））を運転して、ブロック（重さ1個42kg）をつるための専用用具を使いバケットの爪の先端に約400kg（つり具の重量を含む）のブロック8個をつってアームを川側に旋回させたところ、ドラグ・ショベルがバランスを崩して川底幅6m深さ3.4m下の川に転落した。その際、運転室より飛び降りたため身体を石等で強打した。	30107	1～ 9
2008	12	19 ～ 20	事業場敷地内において、2tトラックの荷台にドラグ・ショベル（機体重量520kg）を自走させて荷を積み込む際に、ドラグ・ショベルのバランスが崩れて地面に転落し、ドラグ・ショベルの運転を行っていた被災者が当該機械と地面にはさまれて死亡した。	30202	1～ 9
2008	5	16 ～ 17	被災者は、治山工事現場において、機体重量2.9tのドラグ・ショベルを用いて浮石等の除去作業を行っていたところ、路肩から同ドラグ・ショベルと共に約5m下の斜面に転落して死亡した。	30199	1～ 9
2008	9	10 ～ 11	山止用H鋼建込み作業において、土砂を埋め戻すためにクレーン機能付きドラグ・ショベルで土砂を入れたホッパー（総重量約2.3t）をつり、架設構台上で左旋回した。その際、バランスを崩して架設構台から4.1m下に転落した。ドラグ・ショベル運転士は、運転席から車外に投げ出されてドラグ・ショベル	30105	10 ～ 29

			の下敷きになり死亡した。		
2009	3	13 ～ 14	採石場の頂上付近で、ドラグ・ショベルを使用して除雪作業を行っていたところ、路肩から約140m下にドラグ・ショベルとともに転落した。	20201	1～ 9
2009	10	7 ～ 8	被災者は、林道新設工事において、ドラグ・ショベルを運転して、法面の掘削作業を行っていたところ、作業道から約30m下の斜面にドラグ・ショベルごと転落し、運転席から投げ出された。	30199	1～ 9
2009	10	10 ～ 11	被災者は水路の仮設パイプ（長さ4m×直径30cm）をドラグ・ショベルを使い撤去作業中、トラックに撤去したパイプを積み込み終わり、同僚がトラックを運転してパイプを移動してドラグ・ショベルに戻ってきたところ、被災者は地面から2.7m下がった水路に横向きに倒れていた。	30107	10 ～ 29
2009	2	14 ～ 15	用水路布設工事現場において、掘削用機械（ドラグ・ショベル、機体重量1.5t）を移送させるため、被災者がダンプ（最大積載量3.7t）の荷台に道板（幅50cm、長さ2m）を2本掛け（角度29度）、掘削用機械をダンプの荷台に載せようとした時、片方の道板が外れ、掘削用機械とともに地面に転落し被災者が掘削用機械の下敷きになった。	30199	10 ～ 29
2009	2	10 ～ 11	機体重量3t未満のドラグ・ショベルを用いて椎茸原木搬出用の林道を新設中、路肩を路外して転落した。この時、被災者は運転席から投げ出され、死亡した。	60201	1～ 9
2009	9	6 ～ 7	事業者資材置き場で、当日の工事に使用する住宅基礎用の加工済み鉄筋（長さ5m程度のもの8本、総重量259kg）をトラックに積み込むため、斜面の上端に止めたドラグ・ショベル（機体重量2.9t、平積みバケット容量0.1立方m）でつり上げ、斜面方向へ回転したところ、クローラが浮いて傾き、そのまま斜面を転落した。被災者（運転者）は脱出を図ったが、機体の下敷きとなった。	30202	1～ 9
2009	7	11 ～	作業道を開設するため、掘削した土砂を下方の作業道へ落としたあと、ドラグ・ショベルを用いてダンプトラックへ積み込んで残土の運搬を行っていたが、作業道が崩壊したため、ドラグ・ショベルごと約50m下の川へ転落し	20201	1～ 9

		12	た。		
2009	6	8 ～ 9	会社の駐車場で、2tトラックの荷台に機体重量1.35tの小型ドラグ・ショベルを積み込むため、トラックの荷台の後部に鉄製の歩み板（長さ3m）2枚を掛け渡し、歩み板の上にドラグ・ショベルを前進させていたところ、ドラグ・ショベルが左に傾き、被災者とともに転落、その下敷きとなった。	30309	10 ～ 29
2009	1	14 ～ 15	採石場内において、ドラグ・ショベルを運転して移動中、ドラグ・ショベルごと路肩から斜面を約35m転落した。	20202	10 ～ 29
2010	2	13 ～ 14	バックホーを移送し、移送先の現場でユニック車の荷台から被災者が運転してバックホーを降ろす際、ユニックのアウトリガーを上げてユニック車全体を傾け、下り坂道路の地面にバケットをついて機体を動かそうとしていた時に、バックホーのバランスが崩れて荷台から滑り落ち、さらに道路の法面を転落して運転席から放り出され、機体に激突され死亡した。	30106	1～ 9
2010	2	13 ～ 14	公園造成に伴うフェンス整備工事において、掘削で出たガラを取り除くために被災者がドラグショベルを運転して掘削端部側を移動中、掘削端部の地山が崩れドラグショベルが掘削部に転倒し、被災者が運転席から約1.7m下の掘削底に墜落し死亡した。	30199	10 ～ 29
2010	4	11 ～ 12	被災者（派遣労働者）が護岸の埋め戻しを行うため、ドラグショベルを使用して土砂の積込み作業を行っていたところ、運転を誤りドラグショベルごと川に転落し、ドラグショベルに挟まれ、死亡した。被災者は技能講習を修了していなかった。	30107	1～ 9
2010	4	9 ～ 10	ドラグ・ショベルの修理作業を行っていた被災者から約3.1m離れた箇所で碎石の選別作業を行っていた同僚が、同ドラグ・ショベルの運転席後ろのカウンターウェイトの端から墜落する被災者を目撃した。すぐに被災者は病院に搬送されたが1週間後に死亡が確認された。カウンターウェイト上面から墜落箇所までの高さは2.3mであり、災害発生時、被災者はヘルメットを着用していなかった。	20201	10 ～ 29

2010	5	14 ～ 15	被災者が1人で、ドラグ・ショベルを使用して、作業道（幅員約4.5m）の開設のため、掘削及び立木の取り除き作業をしていたところ、路肩が崩れ、ドラグ・ショベルとともに約30m下の既設林道まで転落し、立木の中に身体を挟まれた状態で発見されたもの。	30106	1～ 9
2010	6	11 ～ 12	被災者はSRC7階建の建物の解体工事現場の5階床部分において、床上に集積したコンクリート廃材をドラグショベルにより階段口に投下する作業を行っていたが、アームを右旋回させた際に履帯右下の廃材が滑動してバランスを崩し、同階段口からドラグショベルとともに約16m下の1階まで転落し死亡した。階段口には鉄骨階段が設置されていたが、ドラグショベルとともに転落した際、階段ごと抜け落ちたもの。	30209	1～ 9
2010	9	9 ～ 10	ドラグ・ショベルを用いて支障木（長さ14m）をトラックの荷台上に積み込む作業中、先に積込んだ木の上（長さ約3m）において人力で積み位置を調整していたところ、玉掛けしていたワイヤーが外れ、吊っていた木に押された被災者が路面に転落した後、さらに崖下まで約7m転落した。積み込み中の支障木も転落したが、被災者と接触したかどうかは不明。	30108	10 ～ 29
2010	9	8 ～ 9	道路舗装工事現場で、砂をいれたフレコンバックをドラグショベル（機体重量2.45t）で吊り上げ運搬中、高さ2.6m下の海岸にドラグショベルが転落し、ドラグショベルを運転していた被災者がドラグショベルの下敷きとなり、死亡したものである。	30106	1～ 9
2010	11	15 ～ 16	ドラグ・ショベルをダンプカーに積載する作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルの荷重がダンプカーの荷台に掛かった際、ダンプカーが移動し、ドラグ・ショベルが荷台から転落したもの。ドラグ・ショベルを運転していた労働者が被災し、病院搬送後に死亡したもの。	30199	10 ～ 29
2011	9	8 ～ 9	砂利採取場において、被災者はドラグショベル（機体重量15.38t）を運転して埋め戻しおよび転圧作業を行っていた。砂利を降ろしにきたダンプ運転手の同僚が、転圧作業をしていたドラグショベルが2m下の雨水が貯まってできた池（水深1m）に横転しているのを発見した。ドラグショベルは運転席まで水に浸かっていたが、死因は圧死によるものだった。	20202	10 ～ 29

2011	10	8 9	トラックで運搬してきた車輻系建設機械（バックホウ）を、荷台から降ろす作業中に発生した災害。被災者が自ら車輻系建設機械を運転し、トラックの荷台から道板を使用して地面に降ろそうとしたところ、道板が荷台から外れ、その拍子に被災者が車輻系建設機械とともに地面に投げ出され、直後に転倒した車輻系建設機械に巻き込まれ死亡したものの。	30110	1～ 9
2011	11	14 ～ 15	車両積載トラックからドラグショベルを運転し降ろそうとしていたところ、ドラグショベルと共に横転し、当該ドラグショベルの下敷きとなった。	80409	1～ 9
2011	7	9 ～ 10	小高い山の上に設置されたテレビアンテナの撤去工事において、アンテナ基礎の解体に使用したドラグ・ショベル（車体幅約85センチメートル）を下山させるために幅約90センチメートルの林道を走行中に、被災者ごと路肩から転落し、運転席から投げ出された被災者が当該ドラグ・ショベルの下敷きになったもの。	30301	10 ～ 29
2011	4	15 ～ 16	被災者は同僚1名と共に一般道から田んぼへ農耕機械を入れるための農道（道幅約2m）に碎石を敷く作業を行っていた。農道へドラグショベル（機体幅約2m）を入れて作業を行っていたが作業場所を変えるため移動しようとドラグショベルを後退させたところ、路肩からドラグショベルごと約5m下の田んぼに転落し、当該ドラグショベルの下敷きとなったもの。	30106	1～ 9
2011	2	11 ～ 12	被災者が生コンが入った「バツカン」と呼ばれる運搬用容器をドラグ・ショベルにより吊り上げ、コンクリート打設箇所に運搬するためドラグ・ショベルを右旋回させたところ、ドラグ・ショベルが河川側に倒れ、運転していた被災者とともに、3.9m下の河川に転落し、ドラク・ショベルの下敷きになったもの。	30199	1～ 9
2011	4	11 ～ 12	被災者は、車両系建設機械を使用して、前日の掘削残土が仮置きされている土止め鉄板部の土砂を掻き出し、残土搬出場所である斜面下方へ落とす作業に従事していたが、当該作業箇所から前方にある斜面から当該機械と共に転落しているところを、別の作業員が目撃したものの。	30106	10 ～ 29
			ドラグショベルでキュービクルをつり上げて移動させる作業中、被災者が		

2011	5	8 ～ 9	キュービクルの天板の上でドラグショベルのフックに当該キュービクルを玉掛けした後、当該キュービクルの天板の上から降りようとした際、当該キュービクルが回転し、その反動で体勢を崩して、当該キュービクルの天板の上から約2.2m下のコンクリート土台上に墜落した。	30209	1～ 9
2012	8	15 ～ 16	被災者は木くずを堆積保管しているチップヤードにおいて、ドラグショベルの運転業務を行っていたところ、誤ってドラグショベルごと木くずの山の上部から転落し死亡した。	150103	30 ～ 49
2012	6	10 ～ 11	ダンプトラックに積まれたコンクリートの入ったベッセルを地上に降ろそうとドラグショベル（クレーン仕様）で吊り上げ旋回していたところ、ドラグショベルが傾き、荷物もろとも約3m下の斜面に転落した。その際、被災者は運転席から投げ出され、アームに上半身を挟まれ死亡した。また、近くにいた別の作業員は、ドラグショベルを避けようとして約3m下に墜落した。	30106	10 ～ 29
2012	2	14 ～ 15	解体工事において、木造平屋の住宅屋根上で作業していた被災者を隣接する同じく木造平屋の住宅屋根上（屋根最上部の棟高約4m）に移動させるために、パワーショベルのバケット（ドラグショベルのバケット逆取付）に搭乗させたところ、労働者がバケットから屋根に完全に乗り移らないうちにバケットを逆方向に旋回させてしまったため、被災者は約4m下の地面に墜落し、死亡した。	30209	1～ 9
2012	11	13 ～ 14	被災者は0.1立方メートルのバケットを装着したドラグショベルで、バケットや排土板を使用して散策路の路面を均す作業を行っていたところ、勾配18度の斜面（幅員約3m）において約10m下にドラグショベルごと転落した。	30199	10 ～ 29
2012	3	14 ～ 15	被災者は高速道路建設工事現場にてドラグ・ショベルを運転し、法面に生えた木の根を伐根・集積する作業を幅約4mの地山等で行っていたところ、当該地山等が崩落し、ドラグ・ショベルごと約17m下の谷底に転落した。	30106	10 ～ 29
2012	12	16 ～ 17	被災者は産業廃棄物の処理場内において、ドラグ・ショベルを用い瓦礫の山の上でアームで破碎機をつり上げ作業中、ドラグ・ショベルが3.4m下方に転落し、ドラグ・ショベルのキャビンと瓦礫の間に挟まれた。	150102	1～ 9

2013	10	11 ～ 12	被災者は、一般住宅の除染工事現場においてドラグショベルを運転し、約1割勾配の法肩から法面に落ちている木の枝などをバケットでかき上げる作業中、ドラグショベルとともに法面を約5メートル下に転落し、腕などがドラグショベルの下敷きとなり、出血死した。	30199	100 ～ 299
2013	7	13 ～ 14	ドラグ・ショベルにて、ダンプに土砂の積み込み作業を行っていた。次のダンプが来る間に、セット場にいたドラグ・ショベルが何らかの原因で、横転し、さらに付近の路肩より約2メートル転落した。運転席が壊れ、被災者が死亡した。	30106	1～ 9
2013	12	14 ～ 15	工事現場において、用水路に沿ったかたちの通学用歩道を整備するため、ミニショベルを用いて用水路脇を掘削していたところ、運転手がミニショベルとともに用水路（幅約2.5m、深さ約2.8m）に墜落した。	30106	1～ 9
2013	3	9 ～ 10	被災者は、ドラグ・ショベルにて鋼製バツカン（400Kg）を移動していたところ、ドラグ・ショベルが横転、2.5m下の河川に転落した。投げ出された被災者は、バケットとバツカンの間に腹部を挟まれた。	30107	1～ 9
2013	10	16 ～ 17	被災者は、ドラグショベルで採石場の表土の除去作業を行っていた。数段下のベンチでは同僚がドラグショベルにより採石の選別作業を行っており、終業が近づいたため、同僚はドラグショベルを運転し、採石場下方へ移動を始めたが、いつもなら後を追って降りてくる被災者が降りてこないため、上部方向へ上がってみたところ、被災者が運転していたドラグショベルが転落・横転し、その脇で倒れている被災者を発見した。	20201	1～ 9
2013	4	13 ～ 14	運転していた被災者は、ドラグショベルで法面掘削作業中、ドラグショベルとともに路肩から約1.6m下の地面に転落し、ドラグショベルの下敷きとなった。	30199	1～ 9
2013	2	15 ～ 16	ダンプトラックに積み込んで運ばれて来たドラグ・ショベルを、バケット部分を支えとして前進させながら荷台から降ろしていたところ、ドラグ・ショベルが横転して法面下の田圃の中に落ち、投げ出された運転者がアームの下敷きとなった。	30107	1～ 9
			建築物の解体工事において、ドラグ・ショベル（機体質量約1.4トン）を		

2013	1	9 ～ 10	4階から3階フロアへと屋内階段を使って移動させようとしていたところ、ドラグ・ショベルが前のめりに転落。階段の踊り場で、被災者が4階フロアの鉄骨とドラグ・ショベルの座席背もたれに挟まれた。	30209	30 ～ 49
2013	9	9 ～ 10	林道開設工事現場において、被災者はドラグショベルを運転して、作業道（道幅2.8m、上限勾配18%）の掘削作業中、作業道の路肩が崩壊し、2.8m下の谷へ転落した。	30199	1～ 9
2014	7	15 ～ 16	ドラグ・ショベルを使用し、林道に堆積していた土砂、枝葉等を除去していたところ、ドラグ・ショベルごと林道脇の谷へ約4.2m転落した。	30199	10 ～ 29
2014	3	10 ～ 11	施工中の擁壁の裏込め土を転圧しようと、小型ドラッグショベルを被災者が運転し、バケットに取り付けられているフックを用い、転圧機を吊り上げ、擁壁の背面底部に下ろそうとしたところ、機体が安定を失い、斜面を約2.5メートル転落。被災者は、横転したショベルと擁壁部に挟まれた。	30108	1～ 9
2014	2	7 ～ 8	資材置場に放置されていたドラグショベルを他の資材置場に移動させるため、被災者が一人でトラックに載せようとしたところ、トラックに掛けた道板がずれたか、もしくはドラグショベルが道板から外れたため、ドラグショベルがアスファルト路面上に転落し、被災者がドラグショベルの下敷きとなった。	30309	1～ 9
2014	1	14 ～ 15	被災者は、仮設ヤードで、ヤード造成の伐採時に発生した枝葉等の伐採材を移動するため、集積作業を行っていた。被災者は、ドラグ・ショベルで、約1mの高さに積みあがった伐採材の上を移動したところ、バランスを崩し伐採材から転落した。被災者は運転席から飛び降りたが、そこにドラグ・ショベルが倒れてきて、下敷きになった。	30102	100 ～ 299
2015	8	17 ～ 18	リース用のドラグショベル（機体重量約2t）をトラックの荷台に載せようと既存の傾斜した専用の台を走行中にドラグショベルが転倒しかけたので飛び降りたが転倒したドラグショベルのクローラ部分と専用の台の隣りに置いてあるリース用の歩み板の間に挟まれ病院へ搬送されたが死亡した。	80409	30 ～ 49

2015	3	8 ～ 9	家屋改修工事に附帯する宅地の石垣積み作業において、被災労働者は小型ドラグショベル（移動式クレーン機能なし）を操作し石垣の石を吊り上げて移動させていたところ、ドラグショベルが転倒し石垣から3.4m下の道路に墜落し死亡したもの。	30202	1～ 9
2015	5	13 ～ 14	砂利採取の現場において、被災者は1人で2台のドラグ・ショベルを用いて、砂利を掘削する作業及び掘削した砂利をトラックの荷台に積み込む作業を行っていた。午後1時過ぎ、当該事業場の労働者がトラックで現場に行ったところ、湧き水等が溜まっている掘削した穴の中に、横転した状態で水没しているドラグ・ショベルを発見した。被災者は、同機械の運転席から救出されたが、病院で死亡が確認された。	10901	10 ～ 29
2015	4	11 ～ 12	被災者がドラグショベルの下敷きになり倒れているのを通行人が発見。搬送先の病院で死亡が確認されたもの。リースしていた1トンドラグショベルを引き取るため建設現場に出張していた被災者が、当該ドラグショベルを1.5トントラックへ積み込む際ドラグショベルと転落し、運転していた被災者がその下敷きとなったものと思われる。災害調査については、警察署が実施済み。	80409	1～ 9
2015	9	14 ～ 15	土砂処分場内で、被災者が大型ドラグショベルを運転して作業道を走行中、路肩が崩れ土砂処分用の穴にドラグショベルごと転落したもの。	20201	1～ 9
2016	9	10 ～ 11	霊園敷地内の雑草対策としてコンクリート床を設ける作業において、小型ドラグショベルで移動中、路肩が崩壊し運転していた作業員が小型ドラグショベルごと高さ約9m崖下に転落し死亡した。	30199	1～ 9
2016	8	9 ～ 10	調整池復旧工事において、被災者は、法面の矢板を打つ位置に埋まった石をどけるため、移動式クレーン機能付きドラグ・ショベルを路肩に据え、当該石にワイヤーロープを掛けて当該ドラグ・ショベルで引き上げたところ、機体の後方が浮き上がり、被災者が誤ってペダルを踏んだため、ドラグ・ショベルが急旋回して法面を転落し、被災者は搭乗席から投げ出された。	30199	1～ 9
		8	トラック荷台に積み込まれていた小型バックホーを荷台から下ろす作業に際		10

2016	5	9	し、バックホーの運転を行っていた被災者が、バックホーごと転落し、バックホーのキャビンに備え付けられたヘッドガードに腕を挟まれた。	30110	29
2016	4	15 ～ 16	被災者は、自社敷地内の資材置き場にて、トラックの荷台にバックフォアを積載しようと、荷台後部に鋼製道板（長さ1.8m、幅0.35m）を掛けた後、当該バックフォアを前進走行で荷台に載せた。荷台に載せ終えたあたりで、機体が滑り、重心が後方に傾いてひっくり返り、道板に接触しながら地上右側面に横転した。これにより被災者はバックフォア運転席前方のパイプフレームと地面との間に頭部を挟まれ死亡した。	30203	1～ 9
2017	9	9	被災者は一人で、トラフ（約54キロ）敷設の作業現場付近の法肩約1.78mのスペースでドラグショベル（バケット容量0.024立米、機体重量1.22t）を運転操作中、何らかの原因により約5メートル下に転落し、先に地面に墜落した被災者の上に当該ドラグショベルが落下し下敷きになった。	30199	1～ 9
2017	9	10 ～ 11	被災者は、トラックに載せていたドラグショベル（移動式クレーン仕様）を、道板を使用し、降ろしていたところ、道板の片側が掛けていたトラックの荷台から外れ、運転していた被災者とともに転倒、ヘッドカード付近に頭部をはさまれた。	30209	1～ 9
2017	4	8 ～ 9	ドラグ・ショベルが路肩を踏み外したため調整池に転落し、オペレーターが死亡した。	30302	30 ～ 49
2017	2	16 ～ 17	被災者が車輻系建設機械（ドラグ・ショベル）で土堤の構築作業を行った後、ドラグ・ショベルを所定の場所に戻すため、高さ約10mの法面（勾配38度以上）を登坂したところ、ドラグ・ショベルごと転落した。	20201	50 ～ 99
2017	2	0 ～ 1	舗装工事現場にて、モルタルを用い道路下側面の腰壁の補修作業を行っていた。被災者がドラグショベル（クレーン機能なし）を用いてモルタルの入った金属製の箱を吊り上げ、左に旋回したところ遠心力が加わり路肩から川底へ転落し、被災者は運転席から投げ出され、川岸の岩に頭を打ち付け、死亡した。なお被災者はシートベルトを装着せず、ヘルメットもかぶっていない	30199	1～ 9

			かった。		
2017	1	14 ～ 15	被災者が移動式クレーン仕様のドラグ・ショベルを運転してローラーをつり上げようとしたところ、過荷重となり、同ローラーとともに、3 m下の川底に落下し、ドラグ・ショベルの下敷きとなり死亡した。	30109	10 ～ 29
2018	12	10 ～ 11	土捨て場において、ドラグショベルを運転していた被災者が、ドラグショベルと一緒に路肩から約15 m（勾配35度）転落し、背面をドラグショベルで圧迫された状態で頭部が残土に埋もれ、窒息により死亡した。	40301	1～ 9
2018	10	10 ～ 11	勾配が22度から35度程度の地山の法面にて被災者はドラグ・ショベル（※小型移動式クレーン仕様ではない）を運転し、重機搬入路の整形作業を行っていたが、現場監視を行っていた現場代理人が大きな音がしたのを聞き、音のした方を見ると被災者の運転するドラグ・ショベルが転倒していた。その後すぐに被災者がドラグ・ショベルの下から這い出てきて、病院に搬送されたが、搬送先の病院で搬送から約1時間後に死亡した。	30108	1～ 9
2018	7	10 ～ 11	農業用ビニールハウスの建築工事において、組立中のビニールハウスの周囲に止水シートを埋設するため、被災者はドラグショベル（車幅83.5 cm）でビニールハウス周囲の地面を掘削していた。ビニールハウスと敷地南側の水路の間の法肩（幅員130 cm）で作業を行っていたところ、ドラグショベルが被災者とともに水路に転落し、被災者が水路の石積とドラグショベルの間に挟まれた。	30209	1～ 9
2018	2	10 ～ 11	国道沿いの道路改良工事現場において、コンクリート擁壁の路肩で作業を行っていたバックホーがバランスを崩して約5 m下の川底へ転落し、運転者はバックホーの下敷きとなり、頭部を圧迫されて死亡した。転落の直前まで、バックホーのバケットフックに土砂の入ったワイヤーモッコを掛け、道路上へ吊上げる作業を行っていた。当該バックホーはクレーン機能を備えているが、適切に使用されていなかった。	30106	10 ～ 29
2020	11	8 ～	同僚1名と被災者で工事で使わなくなったドラグ・ショベルをダンプに積み込み作業中、ダンプの荷台にドラグ・ショベルのクローラ先端をかけ旋回したところドラグ・ショベルがバランスを崩し横転、被災者が運転席から投げ	30106	1～ 9

		10	出されドラグ・ショベルのヘッドガードと地面の間に頭部を挟まれたもの		
2020	10	14 ～ 16	被災者が、ドラグショベルを運転して作業道の開設を行っていたところ、作業道からドラグショベルとともに約24メートル転落した。	60209	1～ 9
2020	9	16 ～ 18	砂防えん堤の建設工事現場において、えん堤の基礎コンクリート打設後の第1段目のコンクリート型枠（残存型枠）の設置作業中、四方を高さ1.42メートルの残存型枠で囲まれた型枠内部にいた被災者を移動式クレーン仕様のドラグ・ショベルのバケット内に搭乗させて型枠外部へ移動させようとしたところ、高さ2.8メートルの位置から被災者は残存型枠内部の基礎コンクリート部へ墜落したものの。	30108	1～ 9
2020	5	14 ～ 16	山中にて治山工事中、被災者はドラグショベルを運転し斜面を下ろうとした。被災者はドラグショベルのバケットを斜面下方に接地させ突っ張りとした後、斜面下方に向かってキャタピラを前進させたところ、ドラグショベルが左斜め前に前転するように斜面を転落し、ドラグショベルの下敷きとなった。なお、救助された時点で被災者はシートベルトを着用していなかった。	30199	30 ～ 49
2020	4	8 ～ 10	機体重量2.56トンのドラグ・ショベルを用いて、工所用通路に仮設していた養生鉄板の撤去作業を行っていた。重量513キログラムの鉄板をつり上げ旋回したところ、ドラグ・ショベルを運転していた被災者が深さ約4m下の沈砂池にドラグ・ショベルごと墜落した。ドラグ・ショベルには、クレーン機能が備えられていた。	30199	30 ～ 49
2020	4	10 ～ 12	災害復旧工事において、崖下に設置してあるヒューム管を、公衆用道路からドラグ・ショベルにて引き上げる作業中、同機がバランスを崩して崖下に転落し、運転者が死亡したものの。	30106	1～ 9
2020	2	12 ～ 14	被災者の所属事業場が受注した砂防堰堤工事の現場に通じる山林内の坂道において、被災者がドラグ・ショベルの下敷きになって倒れているのを、昼休憩を終えた同僚が発見したものである。被災者は救急隊により心肺停止状態で救出されたが搬送先の病院で死亡が確認された。	30199	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207_01.html